

# 平成25年度 一般入試問題

## 国 語

(解答時間 50分)

(配 点 100点)

### [注 意 事 項]

1. 問題用紙は開始の合図があるまで開かないこと。
2. 開始の合図と同時に、問題用紙と解答用紙を切り離すこと。
3. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
4. 問題は㊦～㊨です。最初に確認すること。
5. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
6. 筆答試験終了とともに、解答用紙をふせ、監督者の指示に従うこと。
7. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

□ 次 の 文 章 を 読 ん で 、 後 の 問 い に 答 え な さ い 。

日本語は美しい。

日本の風土で、日本語の使い手である母に抱かれて育った者には、<sup>(ア)</sup>日本語は美しいと感じられる。これは、ごく自然のなりゆきである。

□ I、日本語だけが作り上げる意識の世界があり、その意識の世界で察し合う私たちには、日本語でなければ伝えられないことが山ほどあるのである。

この<sup>(a)</sup>ボウトウの段落の「日本語」を、「ドイツ語」や「英語」、「アラビア語」「中国語」に置き換えたって、もちろん成立する。ドイツ語で育った人たちは、当然、ドイツ語を美しいと感じているはずだ。そうでない人でも、ドイツの思想文化を美しいと感じる人たちは、ドイツ語の響きを美しいと賛美する。

歌劇には、やわらかなイタリア語が最も似合うというのは世界の定説だが、モーツアルトの<sup>(b)</sup>ケイミヨウ洒脱な音律を活かすのは、強い子音が連続するドイツ語が一番、というドイツ語歌劇のファンも根強い。

私は後者なのだが、日常会話でも、ドイツ語の強い子音が醸し出す、尊大さ、厳格さは嫌いじゃ<sup>①</sup>ない。ウィーンなどで、ドイツ語のできる同行者がタクシーの運転手に行き先を告げるのを聞いていると、「命令を下す」のにこんなに似合う言語があるかしら、と感心する。ドイツ語の語感には、毅然と権利を主張して、まったく悪びれ<sup>②</sup>ない印象があるのだ。

したがって、ビジネスの現場などで使われるのにも、たいへんよく似合う言語でもある。「含浸する」「塗布する」のような工場で使われる用語の<sup>※1</sup>バリエーションが、英語に比べて圧倒的に多いのもドイツ語の特徴だそう。ドイツ語は、厳格に精緻に、話し手の主張と権利を謳い<sup>③</sup>上げる言語なのだろう。貴族的であり、父性的である。そういう生き方を好む人は、ドイツ語を美しいというのに違<sup>④</sup>ない。

しかし、ドイツ語の、モーツアルトとビジネスにおける適性はおおいに認めるものの、<sup>(イ)</sup>この語感で愛を語られたら、私は頭を抱えてしまっだろう。愛を語って心にしみてこない言語を、私の女性脳は美しいとは感じない。

だから、ある言語を美しいと言い募ることは、ふつうの場合、あまり意味は<sup>④</sup>ないのである。その言語の織り成す文化が、自分の脳の感性構造に適合するという、非常に個人的な見解にすぎ<sup>⑤</sup>ないのだから。しかし。

日本語の場合は、日本人があえて「日本語は美しい」と言い募ることに、実は<sup>(c)</sup>ゾンガイの意味がある。

日本語は、母音を主体に音声認識をする、世界でも珍しい言語である。

現在、日本語と同じように、母音を主体に音声認識をする言語として確認されているのは、ポリネシア語族のみ(ハワイ語などもこの仲間)。□ II 世界の少数民族のこたばを精査すれば、もっと日本語の「仲間」を探し出せるかもしれないが、世界経済を牽引している欧米各国やアジア各国の言語においては、すべて、子音を主体に音声認識をしている。しかも、これらのこたばの使い手の脳では、母音は、こたばの音として認識されておらず、右脳のノイズ処理領域で「聞き流して」いるのだ。話者の音声を、母音で聴く人類と、子音で聴く人類とがいる。

「言語を聴く、脳の方式」という視点でいえば、世界は、大きく、この二つに分類される。この方式の違いが、人々の意識の世界にどんなに大きな違いを作り出すかについては、これからじっくりと述べていくが、ここで理解していただきたいのは、「日本語が、圧倒的少数派の方式の言語である」ということである。

愚者には見えない衣をまとった王様に向かって、「王様は裸だ！」と叫んだ子どもこそが賢い、という寓話がある。

しかし、<sup>(ウ)</sup>裸の王様は、ほんとうに裸だったのだろうか。

こたばの発音体感を細かく精査していくと、母音で音声を聴き合う言語の使い手の間に生じる「意識の寄り添い」「暗黙の了

解」のようなものが、母音を聞き流す言語の使い手にはあまり見えていないのがわかる。

Ⅲ、日本語を話す者には「王様の衣」が見えるのに、それが見えていない人たちもいる、ということだ。

見えない人が多数派なら、見えている人は嘘つきということになってしまう。それが論理と民主主義による当然の<sup>(d)</sup>「魔ケツ」であり、近代思想の怖さは、ここにある。

日本語は発音構造と音声認識の仕組みが、欧米各国やアジア各国から見ると特異で、<sup>(エ)</sup>世界の言語族の中では、たいへんな異端児である。このため、日本語の使い手にだけ見えるものがあり、国際社会では、日本は嘘つきにされやすく、<sup>※2</sup>「魔ケツ」にもあいやすいのである。

当然、日本語の使い手だけに見えないものもあるとは思いますが、少数派が多数派を嘘つきと呼ぶことはない。少数派は、常に、自分の至らなさを恥じるだけだ。

しかし、語感研究というアプローチから日本語を見れば、「日本人だけに見えるもの」は<sup>(e)</sup>レキゼンと存在するのがわかる。意味とは別に、意識の向きや話者の立ち位置を感じるコミュニケーション。それは<sup>※3</sup>スピリチュアルなものではなく、はっきりとした脳の反応として存在し、物理的にも確認できるものである。

すなわち、「王様は、一部の人に見える衣を着ている」のである。

私には、見えないものを愚者と呼ぶセンスはない(見えないこともまた、教養であるとも思うから)。Ⅳ、見える者を嘘つきにしてしまう民主主義も好きじゃない。「裸の王様」には、幼い日に読んだときから、強い違和感があった。

それにしても、戦後、世界の共通語(論理と民主主義)で話しているうちに、日本人にも、見えなくなってしまったのだろうか。あの、日本語の語感が作り出す、豊かな情感の世界……意味を突きつけ合う合理的な会話の裏で、語感によって交わしている、意識の対話があることを。

日本語の存在価値は、今、「嘘」になろうとしている。数千年に及ぶともいわれる日本語の歴史の中でも、おそらく、初めての出来事のはずである。

(注)

※1 バリエーション …… 変化。変形。

※2 「魔女狩り」 …… 中世から近世初期のヨーロッパで、諸国家と教会とが特定の人物を魔女として問いただす魔女裁判を行った。ここでは比喩的に、異端分子とみなす人物に対して権力者が不法の裁判を加えることを意味する。

※3 スピリチュアル …… 精神的。霊的。

問一 波線部(a)～(e)のカタカナを漢字で答えなさい。

問二 空欄Ⅰ～Ⅳに入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- |   |   |     |    |        |     |     |    |        |
|---|---|-----|----|--------|-----|-----|----|--------|
| 1 | I | また  | II | つまり    | III | しかし | IV | また     |
| 2 | I | また  | II | もしかすると | III | つまり | IV | しかし    |
| 3 | I | また  | II | つまり    | III | しかし | IV | もしかすると |
| 4 | I | つまり | II | もしかすると | III | また  | IV | しかし    |
| 5 | I | つまり | II | もしかすると | III | しかし | IV | また     |

(黒川伊保子 『日本語はなぜ美しいのか』による)

問三 傍線部(ア)「日本語は美しいと感じられる」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 どんなに訓練しても日本人のように使えない特異性が、日本語にはあるということ。
- 2 日本語には、人間の意識世界が強調され、美的センスが問われる要素が多く含まれているということ。
- 3 母音を主体とする音声だけが作り上げる日本語には、特別な意識の世界があるということ。
- 4 日本語には、他の言語よりも、人の心を豊かにし経済的にも人を富ませる不思議な力があるということ。
- 5 人と人とが互いに察し合うという、日本語の持つ美しさは、外国人にも理解できるということ。

問四 二重傍線部①～⑤の「ない」を文法的に分類したものととして最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 ①④⑤と②③
- 2 ①③④と②⑤
- 3 ①②④と③⑤
- 4 ①③と②④⑤
- 5 ①⑤と②③④

問五 傍線部(イ)「この語感で愛を語られたら、私は頭を抱えてしまおうだろう」とあるが、なぜか。その理由として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 話し手の主張を謳いあげるドイツ語の語感、非常に個人的な見解しか伝えることができないから。
- 2 尊大さや厳格さを感じさせるドイツ語の語感、自分の脳の感性には浸透してこないから。
- 3 強い子音が特徴のドイツ語の語感よりも、やわらかな印象のイタリア語の語感のほうが好きだから。
- 4 毅然さ(きんけん)を特徴とするドイツ語の美しさは、ビジネスにおける場面でしか感じるができないから。
- 5 権利を主張する時に使われるドイツ語の語感、あまりにも厳格で難しいと思われるものだから。

問六 傍線部(ウ)「裸の王様は、ほんとうに裸だったのだろうか」と述べられているが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 日本人だけに見えるものは確かに存在しているが、世界の中でも少数派である日本人の言動と感覚は、世間では「嘘つき」とされているので、王様は衣をまとっていないかたかもしれないということ。
- 2 国際社会の中で、母音を主体とする特異な言語である日本語は歓迎されおらず、日本語で語る内容は、世界では「嘘」とされているので、王様は衣をまとっていないかもしれないということ。
- 3 世界の言語族の中で多数派である日本人には、少数派の言語感覚を持っている人々の意識を理解することができないので、王様は一部の人にしか見えない衣を着ていたかもしれないということ。
- 4 日本語を話す者にある「意識の寄り添い」「暗黙の了解」といったものは、世界でも少数派の日本語の使い手にしか見えない世界であるので、王様は一部の人にしか見えない衣を着ていたかもしれないということ。
- 5 日本の中で日本語を使っている者でも、意識の向きや話者の立ち位置を感じられる人と感じられない人がおり、感じられる人は少数であるので、王様は一部の人にしか見えない衣を着ていたかもしれないということ。

問七 傍線部(エ)「世界の言語族の中では、たいへんな異端児である」とあるが、なぜか。その理由として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 日本語は、世界の中でも圧倒的少数派の母音を主体としている言語であり、日本語の使い手が互いに口に出さずとも意識の世界で繋がっているということは、子音を主体とする言語の使い手には見られないから。
- 2 日本語は、世界の中でも圧倒的少数派の母音を主体としている言語であり、日本語の使い手は同じ意識をもつ語族を感覚で探し出せるが、それは子音を主体とする言語の使い手にはできないことだから。
- 3 日本語は、世界の中でも圧倒的少数派の母音を主体としている言語であり、日本語の使い手はスピリチュアルな世界を常に体験できるが、それは多数派の子音を主体とする言語の使い手には体験できないから。
- 4 日本語は、世界の中でも圧倒的少数派の母音を主体としている言語であり、日本語の使い手には母音・子音二つの意識の世界が見えるが、その他の言語の使い手には、母音の意識の世界しか見えないから。
- 5 日本語は、世界の中でも圧倒的少数派の母音を主体としている言語であり、日本語の使い手にある「暗黙の寄り添い」といったものは、近代思想を取り入れた現代の日本人には理解できないから。

問八 本文における筆者の主張と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 日本語も英語もアラビア語も、それぞれの言語でしか伝えられない意識の世界があるはずだが、近年、民主主義にのまれてしまった日本人は、日本人特有の意識の世界を完全に失ったことにより、世界の中から孤立してしまった。
- 2 日本人が「日本語は美しい」というのは近年では珍しく、日本人の感性が多様多様になってきた結果、日本人の中でも、少数派の世界観を持っている日本語を使うことを嫌悪する人が増えてきたのは非常に残念なことである。
- 3 ある寓話で「王様は裸だ！」と叫んだ子どもが賢いとされているが、その子どもは物事の本質を理解していない愚か者であり、その姿は自分たちが日本人であることを忘れ、率先して他の言語を使うようになってきた日本人と似ている。
- 4 「裸の王様」に違和感をもつのは、王様の衣が見えなかった者を愚者として描いているためであり、近年の日本人の感覚に違和感をもつのも、日本人の中にスピリチュアルな世界を疑う者を排除する動きがあるからである。
- 5 多数派がよしとされ少数派が嘘つきとされる近代思想の怖さは、言語の作り出す世界観にもみられ、日本人の中でも、多数派に影響され、日本語の語感が作り出す豊かな意識の世界が見えていないような人も増えているように感じる。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

十九世紀に制度化された科学は、客観性という公共性を盾に、何ものからも自由な独自の価値を追求してきた。それは、一方では純粹に真理を探究する無垢な科学者という神話を生んだ。しかし、客観という公共性は同時に、細分化され極度に専門化した科学を生み、これは、共通了解可能という意味での公共性を喪失したものとなり、普通の人にとってはわけのわからないものとなった。

技術という文脈では、科学は十九世紀に制度化される前からずっと、有用という形で公共性を保ってきた。科学者たちは、自分たちは真理を追究する [I] であり、ゆえに、社会が科学に金を出すのは当たり前と思ってきたかも知れないが、社会の方では、科学は有用な技術を生み出すゆえに、それに金を注ぎ込んできたのかも知れない。

(ア) 二十世紀の半ば頃まで、社会と科学の間のこのようなギブ・アンド・テイクは基本的に保たれてきたと言えよう。蒸気機関の発明からはじまって、電気製品、自動車、ラジオ、テレビ、電話、パソコン、あるいは抗生物質に代表される様々な医薬品。我々の身のまわりにあふれるこれらの道具や商品は、すべて科学技術によって生み出されたものだ。しかし、二十世紀の末になるにおよび、科学技術は本質的に新しいものを生み出さなくなってきたように見える。

それは何よりもまず、簡単な技術はすでに開発され尽くしてしまい、新しい技術を開発するには、前に比べ、何倍、何十倍もの資金を注ぎ込まなければならぬことに起因する。核融合で安全裡にエネルギーを取り出す研究は、核分裂で安全裡にエネルギーを取り出す(すなわち普通の原子力発電)研究に比べ、ケタ違いにお金を使つたが、未だ実用化のめどさえ立っていない。

結核や肺炎などの細菌で起こる病気は、抗生物質の発見により治療可能となった。一方、ガンの治療法の研究には途方もない額の資金が注ぎ込まれたが、ガンの根治法はまだ見つかっていない。科学は注ぎ込まれた資金の割には有効な技術を生み出さなくなったのだ。

素粒子論のように、もともと役に立つ技術を生み出さず、知的好奇心を満たすだけの科学もまた、実験装置に金がかかりすぎるようになり、\* SSCの例に見られるように、社会に見捨てられつつある。どんな研究が重要かは科学者が決めるのだから、社会はただ金を出しさえすればよい。との科学者側の論理は、徐々に通用しなくなってきた。

科学が新技術を生み出す効率を減じてきたのと呼応して、科学は社会にとって有害な技術も生み出すようになった。最も典型的な例は原子爆弾であろう。あるいは最近では薬害エイズやら、環境ホルモンやら、臓器移植の結果クロイツフェルト・ヤコブ病(プリオンで起こるとされる狂牛病に類似の病気に感染した例など)、科学技術がもたらした災難は数知れない。科学者は、このような事態に対し、基本的に責任をとることをしない。それもまた、客観という公共性と関係がある。

人々が科学に期待した公共性は、役に立つ、ということであつたけれど、科学が自らに課した公共性は客観という公準であつた。科学の価値である、客観的な新事実や、客観的な新理論は、客観的であるがゆえに、いかなる俗世間の価値からもある [II] である、と科学者たちは言いはなつことができたのである。悪いのは客観的知識ではなく、それを悪用した人間や社会であるというわけだ。単純に言えば、科学者たちは、自分たちが創り出した技術やその結果に対し、責任をとらないのである。

社会の安定的な存続にとって最大の問題となりつつある地球温暖化が本当に二酸化炭素の人為的放出の結果であるならば、それは科学技術の責任だが、そう主張する科学者のだれかが、それに対して責任をとつたということはないのである。それにもかかわらず、世界中のどこの国でも科学をやめにしようという話にはなっていない。それは、制度としての科学は、今や体制に組み込まれ、体制の一部となり、これをやめさせることは体制にはできないからだ。

大学も国や企業の研究所も大衆民主主義と資本主義を駆動する重要な装置であり、これらを廃止することは体制が崩壊することと等しく、恐くて、だれもそんな選択はできないのである。究極的には科学に税金を注ぎ込まず、科学者という専門家をなくし、科学を純粹な趣味にしてしまうのが一番よいと私は思うが、現実には、すぐにそういうことはできないだろうから、とりあえずは一般の人々が科学の暴走をコントロールするシステムを作ることを考えなければならない。科学者と行政だけではなく一般の人も科学政策に対して発言権をもつシステムを作る必要があるだろう。そのためには一般の人に科学の内容をわかりやすく伝える質の高い科学ジャーナリストを育成することは急務だと思ふ。いずれにしても (イ) 科学についてのイメージが、近年ずいぶん様変わりしてきたことは確かである。

(注)

※ SSC … アメリカで計画されていた超伝導超大型粒子加速器

問一 空欄Ⅰ・Ⅱに入る最も適当な語句を、次の中から一つずつ選びなさい。

- |   |        |       |       |       |        |
|---|--------|-------|-------|-------|--------|
| Ⅰ | 〔1 偽善者 | 2 管理者 | 3 被害者 | 4 聖職者 | 5 支配者〕 |
| Ⅱ | 〔1 絶対的 | 2 中立的 | 3 独断的 | 4 安定的 | 5 飛躍的〕 |

問二 傍線部(ア)「二十世紀の半ば頃まで、社会と科学の間のこのようなギブ・アンド・テイクは基本的に保たれてきたと言えよう」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 科学が新技術を生み出す効率を減じてきた結果として、社会にとって有害な技術も生み出すような関係になった。
- 2 科学の簡単な技術が開発し尽くされてしまい、社会が科学に対してニーズを求め出し均衡がとれるようにしていた。
- 3 科学の暴走をコントロールする社会の監視システムが出来上がり、客観と公共性との関係がよりよいものとなった。
- 4 科学は人間にとって有用な発明を提供し、公共性を保ってきたので、社会がそれに対し研究開発費を投入していた。
- 5 科学が注ぎ込まれた資金の割に、人間にとって有効で知的好奇心を満たすだけの発明を提供している関係となった。

問三 削除

問四 二重傍線部「普通の人にとってはわけのわからぬものとなった」とあるが、

- (1) 「普通の人」にとって科学の本来あるべき姿とはどのようなものか。三十文字以内で述べなさい。
- (2) 「わけのわからぬものとなった」科学に対する対処のしかたを筆者はどのように述べているか。七十五文字以内で述べなさい。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

薩摩守忠度は、いづくよりや帰られたりけん、侍五騎、童一人、わが身ともに七騎取つて返し、五条三位俊成卿の宿所におはして見給へば、門戸を閉ぢて開かず。「忠度。」と名のり給へば、「落人帰り来たり。」とて、その内騒ぎ合へり。薩摩守、馬より下り、みづから高らかにのたまひけるは、「別の子細候はず。三位殿に申すべきことあつて、忠度が帰り参つて候ふ。門を開かれずとも、このきはまで立ち寄せ給へ。」とのたまへば、俊成卿、「<sup>(ア)</sup> さることあるらん。その人ならば苦しがるまじ。入れ申せ。」とて、門を開けて対面あり。<sup>(イ)</sup> ことの体、何となうあはれなり。

薩摩守のたまひけるは、「年ごろ申し承つてのち、おろかならぬ御ことに思ひ参らせ候へども、この二、三年は、京都の騒ぎ、国々の乱れ、しかしながら当家の身の上のことに候ふ間、疎略を存ぜずといへども、常に参り寄ることも候はず。君すでに都を出でさせ給ひぬ。一門の運命はや尽き候ひぬ。撰集のあるべきよし承り候ひしかば、生涯の面目に、一首なりとも御恩をかうぶらうど存じて候ひしに、やがて世の乱れ出でて来て、その沙汰なく候ふ条、ただ一身の嘆きと存じ候ふ。世静まり候ひなば、勅撰の御沙汰候はんずらん。これに候ふ巻き物のうちに、さりぬべきもの候はば、一首なりとも御恩をかうぶつて、草の陰にてもうれしと存じ候はば、遠き御守りでこそ候はんずれ。」とて、日ごろよみ置かれたる歌どもの中に、秀歌とおほしきを百余首書き集められたる巻き物を、今はとてうつ立たれけるとき、これを取つて持たれたりしが、鎧の引き合はせより取り出でて、俊成卿に奉る。

三位、これを開けて見て、「かかる<sup>(ウ)</sup> 忘れ形見を給はり置き候ひぬるうへは、ゆめゆめ疎略を存ずまじう候ふ。御疑ひあるべからず。さてもただ今の御渡りこそ、情けもすぐれて深う、あはれもことに思ひ知られて、感涙おさへがたう候へ。」とのたまへば、薩摩守喜んで、「今は西海の波の底に沈まば沈め、山野にかばねをさらさばさらせ、浮き世に思ひ置くこと候はず。さらばいとま申して。」とて、馬にうち乗り甲の緒を締め、西をさいてぞ歩ませ給ふ。三位、後ろをはるかに見送つて立たれたれば、忠度の声とおほしくて、「前途ほど遠し、思ひを雁山の夕べの雲に馳す。」と、高らかに口ずさみ給へば、俊成卿いとど名残惜しうおぼえて、涙をおさへてぞ入り給ふ。

そののち、世静まつて、千載集を撰ぜられけるに、忠度のありしありさま、言ひ置きし言の葉、今さら思ひ出でてあはれなりければ、かの巻き物のうちに、さりぬべき歌、いくらもありけれども、勅撰の人なれば、名字をばあらはされず、故郷の花といふ題にてよまれたりける歌一首ぞ、「よみ人知らず」と入れられける。

さざなみや志賀の都は荒れにしを昔ながらの山桜かな

その身、朝敵となりしうへは、子細に及ばずといひながら、うらめしかりしことどもなり。

問一 傍線部(ア)「さることあるらん。その人ならば苦しがるまじ。」の解釈として最も適当なものを、次の中から一つ選びな

さい。

- 1 ここから去って行くのであろう。その人ならば気が重くはないであろう。
- 2 去るにあたってのあいさつであろう。その人のことは気兼ねはいらない。
- 3 帰ってくることもあるだろう。その人であるならばさしつかえあるまい。
- 4 お亡くなりになってしまふかもしれない。その人は苦しがつているようだ。
- 5 避けてばかりきた。その人に会わなければ心苦しい思いをするに違いない。

問二 傍線部(イ)「ことの体、何となうあはれなり。」と作者が表現した理由として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 負け戦の後の落ち武者姿でみすばらしく無礼な姿だったから。
- 2 およそ武士とは思えないしみじみとした趣が漂っていたから。
- 3 以前のような勇猛果敢な威勢の良さが感じられなかったから。
- 4 身分の低い武士に対しても思いやりを持って接していたから。
- 5 荒々しい武士を恐れない堂々とした態度で対応していたから。



問三 傍線部(ウ)「忘れ形見」とは何のことか。最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 御守り
- 2 巻き物
- 3 鎧
- 4 君
- 5 一門

問四 本文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1 戦場から逃げ帰ってきてしまった忠度に対して、俊成は思いやり深く接し、命の大切さを説いた。
- 2 忠度は自分のせいで一門が減びてしまうのがしのびなく、俊成に亡くなった者への供養を頼んだ。
- 3 忠度は師匠である俊成を訪ねて、武士の名誉として敵の首を一つでも持って帰ることを約束した。
- 4 俊成は、弟子である忠度の和歌に対する思いの深さに改めて心を打たれて、涙を抑えがたかった。
- 5 後世に完成した千載集に入れられた「よみ人知らず」の歌は、忠度を賛美した俊成の作品であった。

問五 この本文の作品名を次の中から一つ選びなさい。

- 1 宇治拾遺物語
- 2 栄花物語
- 3 伊勢物語
- 4 源氏物語
- 5 平家物語



# 平成 25 年度 一般入試問題

## 数 学

(解答時間 50分)

(配 点 100点)

### [注 意 事 項]

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 開始の合図と同時に、問題用紙と解答用紙を切り離すこと。
3. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
4. 問題は①～⑥です。最初に確認すること。
5. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
6. 筆答試験終了とともに、解答用紙をふせ、監督者の指示に従うこと。
7. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校

**1** 次の式を簡単にしなさい。

(1)  $\left\{ (-0.75)^3 \div \left(-\frac{1}{2}\right)^2 \right\} \div \left\{ 0.25^3 - \left(-\frac{1}{2}\right)^4 \right\}$

(2)  $\left(-\frac{3}{2}x^3y^2\right)^3 \times \left(-\frac{1}{2}x^2y^4\right)^2 \div \left(-\frac{3}{4}x^3y^3\right)^4$

(3)  $\frac{3x+2y}{4} - \left(\frac{3x-2y}{2} - \frac{2x-5y}{3}\right)$

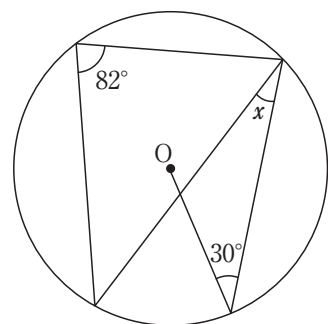
**2** 次の問いに答えなさい。

(1)  $a^2 - 9b^2 + 12bc - 4c^2$  を因数分解しなさい。

(2)  $\begin{cases} \sqrt{3}x + y = 2 \\ x - \sqrt{3}y = 2 \end{cases}$  のとき、 $x^2 - y^2$  の値を求めなさい。

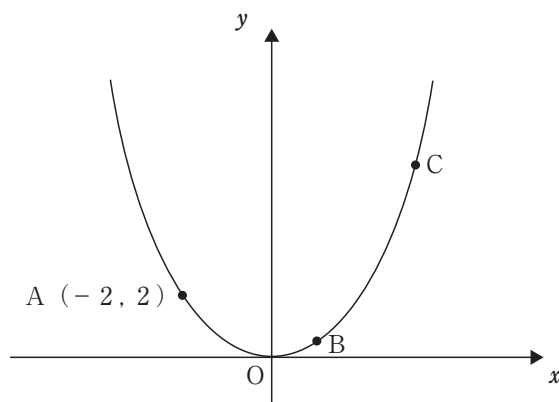
(3)  $(3x - 1)\left(\frac{x}{6} - 1\right)$  の6倍と、 $3x - 1$ の平方が等しいとき、 $x$ の値を求めなさい。

(4)  $\angle x$ の大きさを求めなさい。  
ただし、 $O$ は円の中心である。



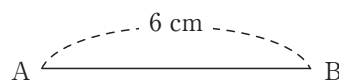
**3** 濃度のわからない2種類の食塩水A、Bがある。Aが800g、Bが600gあるとき、A、Bからそれぞれ400gずつ取り出して混ぜると濃度が6%の食塩水ができた。残りの食塩水をすべて混ぜて、さらに水を350g加えると4%の食塩水ができた。食塩水A、Bの濃度を求めなさい。

**4** 図のように、放物線  $y = ax^2$  上に  
3点 A, B, C がある。点 A の座標は  
(-2, 2) で、点 B, C の  $x$  座標は  
それぞれ 1, 3 である。



- (1)  $a$  の値を求めなさい。
- (2) 直線 AC の方程式を求めなさい。
- (3) 直線 AB に平行で点 C を通る直線  
と  $y$  軸との交点 D の座標を求めな  
さい。
- (4)  $\triangle AOB : \triangle DOC$  の面積比を最も簡単な整数の比で答えなさい。
- (5) 原点 O を通り、四角形 ABCD の面積を 2 等分する直線の方程式を求めなさい。

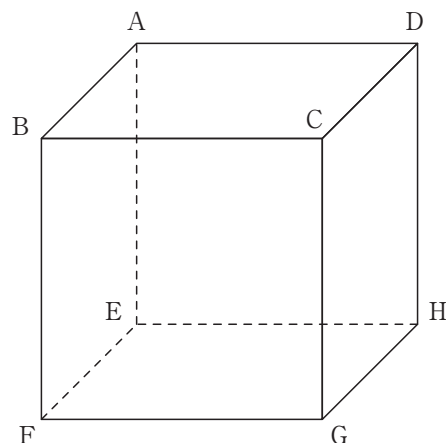
**5** 図のように、長さ 6 cm の線分 AB がある。さいころ  
を 2 回投げて、1 回目に出た目が  $x$  のとき点 A を中心に  
半径  $x$  cm の円をかき、2 回目に出た目が  $y$  のとき点 B  
を中心に半径  $y$  cm の円をかく。



それぞれが線分 AB と交わる点を C, D とし、線分 AB 以外で 2 円が交わる点があれば、その点を E とする。ただし、点 E は線分 AB の上方にあるとする。

- (1) 2 円が異なる 2 点で交わる確率を求めなさい。
- (2) 点 C と点 D の間の長さが 1 cm より長く 4 cm より短くなる確率を求めなさい。
- (3)  $\triangle ABE$  が二等辺三角形となる確率を求めなさい。

**6** 1 辺  $a$  の立方体 ABCD-EFGH がある。  
辺 EF, FG, GH, HE の中点をそれぞれ P,  
Q, R, S とする。次の間に答えなさい。



- (1) 平面 BQRD でこの立方体を切ったとき、  
切り口の面積を求めなさい。
- (2) 4 つの平面 APQC, BQRD, CRSA,  
DSPB で立方体を切ったとき、立方体の  
中心を含む立体の名称を答えなさい。
- (3) (2) の立体の体積を求めなさい。

平成 25 年度 一般入試

数学 解答用紙

〈注〉※欄には記入しないこと。

<b>1</b>	(1)	(2)	(3)

※小計A

--

<b>2</b>	(1)	(2)	(3)	(4)
			$x =$	°

<b>3</b>	A :	B :
	%	%

※小計B

--

<b>4</b>	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	$a =$		D( , )	:	

<b>5</b>	(1)	(2)	(3)

※小計C

--

<b>6</b>	(1)	(2)	(3)

受験番号	氏 名	得 点

平成25年度 一般入試問題  
英語

(解答時間 50分)

(配点 100点)

[注意事項]

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 開始の合図と同時に、問題用紙と解答用紙を切り離すこと。
3. 解答用紙に受験番号(算用数字)と氏名を記入すること。
4. 問題は①～⑤です。最初に確認すること。
5. 解答はすべて、解答用紙の解答欄に記入すること。
6. 筆答試験終了とともに、解答用紙をふせ、監督者の指示に従うこと。
7. 問題用紙は各自持ち帰ること。

東京農業大学第一高等学校



1 次の問い(問1・2)に答えなさい。

問1 下線部の発音が他と異なるものを1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. (ア) hard (イ) heard (ウ) hurt (エ) world

2. (ア) tool (イ) cool (ウ) wool (エ) tooth

3. (ア) though (イ) those (ウ) breathe (エ) thought

問2 単語のアクセント(強勢)の位置が第3音節にあるものを3つ選び、記号で答えなさい。

(ア) in-tro-duce (イ) re-mem-ber (ウ) mu-se-um (エ) al-read-y

(オ) an-oth-er (カ) vol-un-teer (キ) cal-en-dar (ク) pop-u-lar

(ケ) vi-o-lin (コ) mu-si-cian

2 次の英文の( )内に当てはまるものを1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. A: How ( ) is it from here to the station?

B: It is about fifteen minutes' walk from here.

(ア) old (イ) long (ウ) often (エ) far

2. A: Wow! This is a very beautiful *ukiyoe*.

B: What ( ) you say? I couldn't hear you.

(ア) did (イ) do (ウ) will (エ) would

3. A: Ten years ( ) since we graduated from college.

B: Really? Time flies, doesn't it?

(ア) has passed (イ) have passed (ウ) passed

(エ) would pass

4. A: May I help you?

B: Yes. I'm looking for a bag. This one is a little small.

Do you have a ( ) one?

(ア) bigger (イ) biggest (ウ) more big (エ) most big

5. A: It looks delicious!

B: Yes, this is the cake ( ) my mother loves very much.

(ア) who (イ) whose (ウ) which (エ) when



6. A : (        ) you or I will have to go and get something to drink.

B : OK, I will.

(ア) Both        (イ) Either        (ウ) Never        (エ) Not

7. A : There are many good places to visit in *Yokohama*.

B : I would like to go to a lot of places.

A : You can find (        ) on the Internet.

(ア) it        (イ) this        (ウ) they        (エ) them

8. A : Have you watched this movie?

B : No, I haven't.

A : It is very popular (        ) young people.

(ア) across        (イ) among        (ウ) between        (エ) during

9. A : Did you see the traffic accident?

B : Yes. The man (        ) in the accident was taken to the hospital.

(ア) injure        (イ) injured        (ウ) injuring        (エ) to injure

10. A : What are you going to do this summer?

B : We're planning on (        ) all the way from *Hokkaido* to *Kyushu*.

(ア) drive        (イ) driver        (ウ) driving        (エ) to drive

**3** 次の文の(        )内の語(句)を並べかえて、意味の通る英文を完成させなさい。ただし、文頭に来る語(句)も小文字にしてあります。

1. There is ( want / you / I / to / one thing / remember ) when you visit foreign countries.

2. Look at this picture. ( this / boy / a / is / working ) for that shop and this girl is his girlfriend.

3. A: Excuse me. I want to go to *Shibuya*. Would you tell me ( I / line / should / use / which )?

B: Sure. Use the *Ginza* Line.

4. A : Thank you for coming to my party.

B : It was a wonderful party. ( in / looked / nice / that dress / you ).

4 次の問い(問1～3)に答えなさい。(ただし、\*印は注があることを表します。)

問1 次の英文の空欄[ ① ]～[ ④ ]に入るものとして、適切なものを1つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

German shepherds are good dogs because they have many advantages. For one thing, they are the right size — large and strong. [ ① ]

The thick \*fur coat of German shepherds is another plus. [ ② ] The dogs can work outside even in bad weather. Their coat also keeps them from being dirty.

[ ③ ] It is easy to train them to do hard jobs. When it works for the police, a German shepherd may have to \*sniff out drugs or follow \*faint tracks. When it works for the blind, the dog may need to “read” traffic lights. German shepherds are smart enough to learn skills like these quickly and well.

What’s more, German shepherds are patient and calm. If their owners are busy, they will not be jumpy or draw attention. [ ④ ]

fur 毛皮 sniff out 嗅ぎつける faint かすかな

- (ア) They can wait quietly for a long time.
- (イ) It is hard for them to learn some skills.
- (ウ) German shepherds are also very smart.
- (エ) It protects them.
- (オ) Their chests are big enough for getting plenty of wind for long runs.

問2 次の英文を読み、後の設問に答えなさい。

What time of day were you born? Some scientists think that the time at which a person is born affects the way that person feels every day. People have an \*internal clock that helps run their bodies. This clock affects when a person feels tired or full of energy. Some people feel tired in the morning and lively in the evening. They are called “night owls.” People who work well in the morning are called “early birds.” Scientists think that people’s internal clocks are set at the time they are born. A person who is born in the daytime is likely to be an early bird. Night owls, on the other hand, tend to be born [        ].

internal 内部の

設問A 本文の最後の空欄に入る語句として適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) at noon                      (イ) in time
- (ウ) at night                      (エ) in the morning

設問B 本文の内容としてふさわしくないものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) Time can affect people in many ways.
- (イ) The time you were born at might affect when you become tired or active.
- (ウ) People who were born in the morning tend to be early birds.
- (エ) All the people feel lively in the morning and tired in the evening.

問3 次の英文の空欄〔 〕には下の①～⑤の文がすべて入ります。意味が通るように適切な順序に並べかえなさい。ただし、2番目にくるものは解答欄に記入してあります。

Joe was really hungry, so he made himself a big turkey sandwich. Just as Joe was about to eat, his dog Sly walked up and gave Joe his \*paw. [ ] At last Joe realized he had given Sly all of his sandwich! Joe got up and made another sandwich.

paw 足

- ① Joe gave Sly another piece of his sandwich.
- ② So, Joe gave Sly another piece of his sandwich again.
- ③ Sly ate the sandwich and rolled over twice.
- ④ Sly ate it up and barked to get some more this time.
- ⑤ Joe broke off a corner of his sandwich and gave it to Sly.

5 次の英文を読み、後の設問に答えなさい。

The train made a regular noise through the suburbs of Tokyo on a quiet and slow spring afternoon. Our car was a little empty — a few housewives with their kids, some old people going shopping. I looked at the colorless houses and little trees around the houses without any attention.

At one station the doors opened, and suddenly (1) a man crying loudly and wildly broke the afternoon quiet. The man got into our car with rolling. He wore worker's clothing and was big, drunk and not clean. Crying out, he came closely to a woman holding a baby. His attack made her baby drop into the laps of an elderly pair. It was lucky that the baby was not injured.

Scared, the old man and the woman jumped up and walked toward the other end of the car. The worker tried to kick at the back of the old woman but missed as she walked fast to safety. This so angry and drunk man held the metal bar in the center of the car and tried to take it off from the train. I could see that one of his hands was cut and having blood. The train suddenly started ahead, and the passengers were got into the scare. I stood up.

I was young then, some 20 years ago, and in pretty good shape. I'd been practicing for eight hours of Aikido training nearly every day for the past three years. I liked to throw and to hold. I thought I was tough. The trouble was that my Aikido's skill was untested in an actual fight. As students of Aikido, we were not allowed to fight.

"Aikido," my teacher had said again and again, "is the art. Anyone who has the mind to fight has broken his connection with the world. If you try to control people, you're already a loser. We study how to find the answer, not how to start it."

I listened to his words and kept his words. I tried hard. (2) I even went so far away to walk another side of the street not to face the "chimplira." My self-control made me grow up. I felt tough. In my heart, however, I wanted to be a hero to save someone in trouble and to attack bad persons by using my Aikido.

"This is it!" I said to myself as I stood up. "People are in danger. If I don't do something fast, somebody will probably get hurt."

Seeing me stand up, the drunk worker understood that this was a chance to throw his angry mind. "Aha!" he cried out. "A foreigner! You need a lesson in a Japanese way!"

I held on lightly to the train strap above my head and gave him a slow look of unlikeness and fighting wish. I planned to take this drunk away, but he had to make the first move. I wanted him to be angry, so I threw a kiss.

“All right!” he said loudly. “You’re going to get a lesson!” He was coming straight to me.

At the moment of his second moving, someone shouted “Hey!” It was a loud voice. I remember the strangely joyful voice — as though you and a friend had been searching for something, and he had suddenly happened to see it. “Hey!”

I turned to my left; the drunk turned to his right. We both looked down at a little old Japanese man. The tiny gentleman was sitting there in his kimono. He must have been in his seventies. He took no notice of me, but looked happily at the worker, as though he had a most important, most welcome secret to share.

“Come here,” the old man said to the drunk. “Come and talk with me.” He waved his hands lightly.

The big man followed, as if he had no wish. He pushed himself with his anger in front of the old gentleman and shouted, “Why should I talk to you?” The old man continued to look at the worker. “What have you been drinking?” he asked, his eyes were full of interest. “I have been drinking sake,” the worker cried back, “and it’s out of your business!”

“Oh, that’s wonderful,” the old man said, “quite wonderful! You see, I love sake, too. Every night, me and my wife (she’s 76, you know), we warm up a little bottle of sake and take it out into the garden, and we sit on an old wooden chair. We watch the sun go down, and we see how our trees are doing. My great-grandfather planted those trees, and we worry about if they will be OK from those ice storms we had last winter. Our trees have done better than I thought, though, especially when you care about the poor ground of our garden. It makes me happy to watch when we take our sake and go out to enjoy the evening — even when it rains!” He looked up at the worker with the eyes shining.

As he tried to follow the old man, (3) his face began to be soft. His hands slowly lost its power. “Yeah,” he said. “I love trees, too …” His voice became soft.

“Yes,” said the old man, smiling, “and I’m sure you have a wonderful wife.”

“No,” replied the worker. “My wife died.” Very gently, the big man began to cry. “I don’t have a wife, I don’t have home, and I don’t have a job. I’m feeling so bad about myself.” Tears rolled down his face, a feeling of despair came to his body.

As I stood there for a while, my ambition, I felt worse than he was.

Then the train arrived at my stop. As the doors opened, I heard that the old man made the worker feel relaxed. “My, my,” he said. “That is your difficult time indeed. Sit down here and tell me about it.”

I turned my head for one last look. The worker had the seat with his head in the old man’s lap. The old man softly touched his hair.

As the train pulled away, I sat down on a chair in the station. What I had wanted to do with my hands had been done with the old man’s kind words. I had just seen the spirit of Aikido and the truth of love in his action. (4) I would have to practice the art with a different spirit. It would be a long time before I could speak about the answer of this question.

問1 下線部(1)の“a man”が行った迷惑行為のうち、実際には行っていないものはどれか。次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) He attacked a woman holding a baby.
- (イ) He cried loudly and wildly in the train.
- (ウ) He tried to take off the metal bar from the train.
- (エ) He kicked an old woman.

問2 下線部(1)の“a man”に対して、乗客が抱いた感情を最も適切に表す英単語を1語、本文の第1段落～第3段落より抜き出しなさい。

問3 筆者は、下線部(1)の“a man”に対してどうしようと思ったか。次の中から適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) I would try to throw and hold him.
- (イ) I would try to teach him Aikido.
- (ウ) I would try to listen to him.
- (エ) I would try to go away from him.

問4 筆者が、下線部(2)のように行動したのはなぜか。次の中から適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) まだ合気道を習ったばかりで、合気道の技術不足だったため。
- (イ) 合気道の先生から、合気道は戦いのためのものではないと何度も言われていたため。
- (ウ) 合気道を実践の場で使ったことがないので勝つ自信がなかったため。
- (エ) 当時は若かったので、行動を起こすことができなかったため。

問5 下線部(3)について、老人のどのような話の内容が彼に変化をもたらしたのか。次の中から適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 雨の中でも庭を眺めるのは楽しいということ。
- (イ) 妻と一緒に庭を眺めながら酒を飲んでいること。
- (ウ) 人を支配しようとする、敗者になるということ。
- (エ) 老人の曾祖父が木を植えたこと。

問6 本文中の“the worker”が置かれていた状況として適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) He couldn't stop drinking sake.
- (イ) He didn't have his own home.
- (ウ) He had no job.
- (エ) His wife passed away.

問7 なぜ筆者は下線部(4)のようにしようと考えたか。次の中から適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) I found the truth of love in my action.
- (イ) I learned a lesson from the drunk.
- (ウ) I was moved by the solution of the old man.
- (エ) I completely forgot Aikido's spirit.

問8 この話のタイトルは *Another Way* であるが、なぜ筆者はこのタイトルにしたのか。その理由として適切なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 相手を1度受け入れないと、相手が心を開かないことを学習したから。
- (イ) 物事はいろいろな角度から見ると、異なって見えることを学習したから。
- (ウ) 問題解決方法は1つでなく、いくつもあることを学習したから。
- (エ) 力に頼らない別の方法があるということを学習したから。

平成 25 年度 一般入試

英語 解答用紙

〈注〉※欄には記入しないこと。

1

問 1 1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

問 2 \_\_\_\_\_

※

2

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_

9 \_\_\_\_\_ 10 \_\_\_\_\_

※

3

1 There is \_\_\_\_\_ when you visit foreign countries.

2 \_\_\_\_\_ for that shop and this girl is his girlfriend.

3 Would you tell me \_\_\_\_\_ ?

4 \_\_\_\_\_ .

※

4

問 1 ① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_

問 2 A \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_

問 3 \_\_\_\_\_ → ③ \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_ → \_\_\_\_\_

※

5

問 1 \_\_\_\_\_ 問 2 \_\_\_\_\_ 問 3 \_\_\_\_\_

問 4 \_\_\_\_\_ 問 5 \_\_\_\_\_ 問 6 \_\_\_\_\_

問 7 \_\_\_\_\_ 問 8 \_\_\_\_\_

※

受験番号	氏 名	得 点